

# 蓄電池の国内生産基盤確保のための先端生産技術導入・開発促進事業

【令和3年度補正予算案額：1,000億円】

## 事業概要

- 先端的な蓄電池・材料の生産技術、リサイクル技術を用いた大規模製造拠点を国内に立地する事業者に対し、そのために必要となる建物・設備への投資及びこうした生産技術等に関する研究開発に要する費用を補助。

## 補助要件

### (1) 技術的先進性

- 先端的なリチウムイオン電池(エネルギー密度の向上等)
- 先端的なリチウムイオン電池の部材・材料
- 電池材料のリサイクル

### (2) 大規模投資

### (3) 設備の転用可能性

- 車載用電池の場合、定置用の生産にも転用可能な構造の設備とすること

### (4) 国内サプライチェーン強靱化への寄与

- サプライチェーンリスクの軽減策の実施
- CO2排出低減・責任調達への対応
- サイバーセキュリティリスクへの対応 (BMS等)

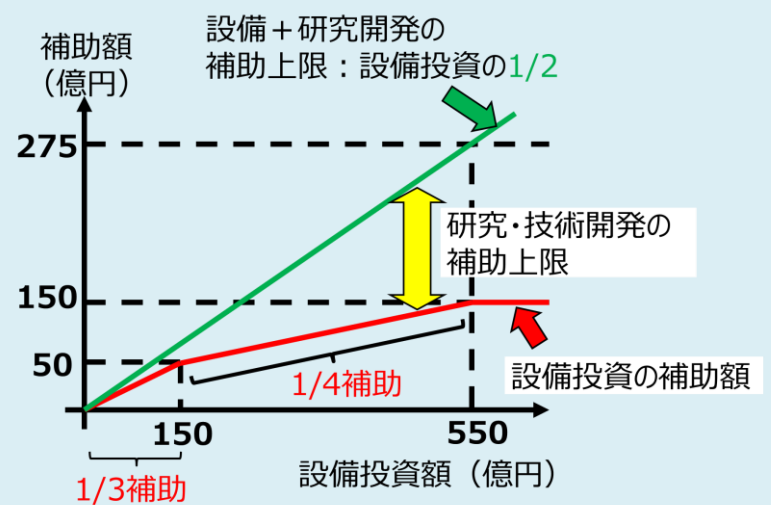
## 補助率・補助上限

### (1) 設備投資

- 補助対象経費150億円までは、補助率 **1/3**
- 150億円を超える部分については、補助率 **1/4**
- 補助上限額 **150億円**

### (2) 研究開発 補助率 **1/2**

※(1)による補助額との合額が、(1)の補助対象経費の1/2を超えない範囲



## ■補助スキーム (事業期間：5年間)



## ◆お問合せについて

制度に関する情報は、QRコードからアクセスいただける経済産業省のホームページに順次掲載予定です。問合せ先に関する情報も掲載いたします。

